

金沢市自転車活用推進計画 R7.3 改定概要

1. 改定の背景

- R2.3 に、「金沢市まちなか自転車利用環境向上計画」を基に、自転車活用推進法に基づく市町村版自転車活用推進計画として、「金沢市自転車活用推進計画(計画期間:R2.3～R12.3)」を策定
 - R3.5 に国では「第2次自転車活用推進計画」を策定
 - R5.4 には、ヘルメット着用努力義務の対象を全年齢に拡大、R6.11 には、飲酒運転の違反運転に対する罰則規定整備など、「道路交通法」を改正
- 「金沢市自転車活用推進計画」策定から 5 年が経過
- 各種法制度の改正状況や計画進捗状況を踏まえて中間見直し

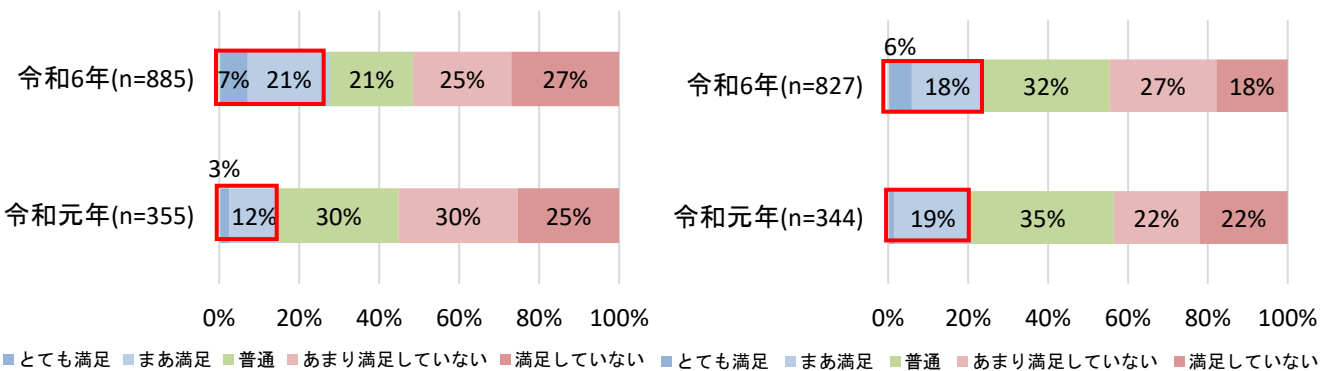
2. 現状・課題

【はしる(自転車通行空間整備)】

- R7.3 時点で 45.3km の自転車通行空間を整備済みだが、整備延長の伸びが鈍化
- 「自転車での走りやすさの満足度」は 15%→28%と 13 ポイント増加

【とめる(駐輪環境整備)】

- H20 年度→R5 年度で、路上放置自転車撤去台数が 74%減少、駐輪場における長期放置車両移動台数が 36%減少
- 「自転車のとめやすさの満足度」は 19%→24%と微増



＜自転車での走りやすさの満足度＞
（令和元年、6年金沢市の自転車利用実態に関するアンケート調査（市民）より）

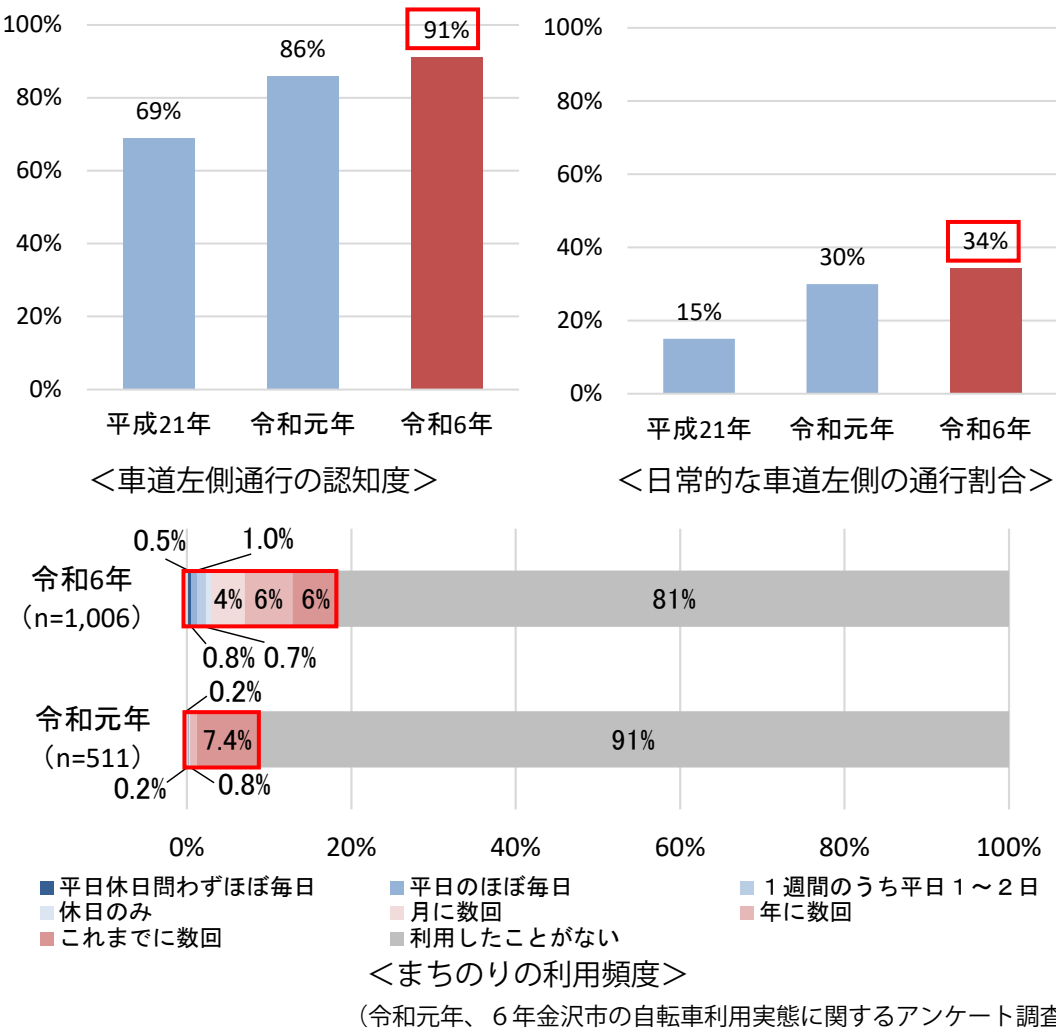
＜自転車のとめやすさの満足度＞
（令和元年、6年金沢市の自転車利用実態に関するアンケート調査（市民）より）

【まもる(ルール遵守・マナー向上)】

- R5 に市自転車条例を改正し、ヘルメット着用努力義務の対象を全年齢に拡大
- H20→R5 で自転車関連事故は 73%減少しているが、近年下げ止まり傾向
- 「車道左側通行の認知度」は 91%と高水準であるが、「日常的な車道左側の通行割合」は 34%とほぼ変化なし

【つかう(自転車利用促進)】

- R5 年度のまちのり年間利用者数は約 30 万人。市民利用経験者が 9%→19%と 10 ポイント増加。(R7.4～第3期まちのりの開始を予定)
- 「月に数回以上自転車を利用する割合」は、42%→56%と 14 ポイント増加



（令和元年、6年金沢市の自転車利用実態に関するアンケート調査（市民）より）

3. 改定の概要

- 中間見直しとなるため、基本目標や基本方針の柱立ては変更せずに、計画の進捗状況を踏まえて、主に下記施策を推進することで、自転車利用環境整備を更に促進
- 具体的な自転車活用推進施策の主な拡充内容は、下記の通り

1)「はしる(自転車通行空間整備)」

方針①:自転車通行空間整備の推進
・国、県、市、警察と連携し、自転車通行空間整備を更に推進するとともに、路面表示の維持管理等による安全で快適な自転車ネットワークの構築

2)「とめる(駐輪環境整備)」

方針③:新たな駐輪施設の整備
・サイクル&ライド駐輪場の整備や、金沢版モビリティハブと連携した機能強化
・コラムとして、電動キックボードの交通ルールを追加

3)「まもる(ルール遵守・マナー向上)」

方針①:ライフステージ別の交通安全教育の充実
・高校生への安全教育、啓発活動の継続検討
方針②:自転車損害賠償保険の加入及びヘルメットの着用促進
・ヘルメット着用の全年齢努力義務化に伴う、ヘルメット着用促進
方針③:来街者、外国人へのルール遵守・マナー向上の啓発
・イベントを通じた外国人への交通ルール・マナーの周知

4)「いかし ひろめる(自転車活用)」

方針①:市民の健康的なライフスタイルの実現に向けた自転車の活用推進
・「かなざわ健康ポイント」と連携し、健康増進に資する自転車利用を促進
方針②:観光やまちの賑わいへの自転車の活用推進
・石川県が推進するナショナルサイクルルート指定に向けた取組への協力
方針③:シェアサイクル「まちなり」の利用促進
・第3期まちなりの事業規模拡大(ポート120箇所・自転車1,000台程度まで拡大)

4. 目標指標

- 自転車通行空間整備延長や自転車関連事故件数、自転車損害賠償保険の加入率については、現状の進捗では目標値の達成が困難なため、令和11年度の目標達成に向けて、各種施策を推進

＜計画の目標指標と目標値＞

自転車活用推進計画の指標				基本方針			
指標名	目標値 (R11年度)	計画当初 (H30～R元年度)	現状値	はしる	とめる	まもる	ひろめる
自転車通行空間整備延長	60km 以上	36.4km (R元年度)	45.3km (R6年度)	●		●	
自転車関連事故件数	100 件以下	184 件 (R元年)	130 件 (R6年)	●		●	
長期駐輪移動台数	1,400 台以下	1,531 台 (H30年度)	1,039 台 (R5年度)		●		
路上放置自転車撤去台数	200 台以下	327 台 (H30年度)	248 台 (R5年度)		●		
自転車損害賠償保険の加入率 (アンケート調査より)	80%以上	64.9% (R元年度)	65.5% (R5年度)			●	
自転車ルールの認知度 (アンケート調査より)	90%以上	市民 86% 高校生 84% (R元年度)	市民 91% (R6年度)			●	
自転車利用頻度 (月に数回以上利用) (アンケート調査より)	60%以上	市民 42% (R元年度)	市民 56% (R6年度)				●
自転車利用が健康増進につながると思う人の割合 (アンケート調査より)	60%以上	—	85% (R6年度)				●
市民のまちなり利用経験者の割合 (アンケート調査より)	30%以上	9 % (R元年度)	19% (R6年度)				●
まちなり利用者数	10 万人以上	63,284 人 (H30年度)	298,521 人 (R5年度)				●